

Rush News ラッシュニュース

今月は「スペシャルお誕生日会」開催！

ラッシュでは毎月、その月に誕生日を迎える社員を祝う「お誕生日会」を開催しています。社員同士のつながりを大切に、ラッシュならではの恒例行事です。今月は、社長が60歳（還暦）という大きな節目を迎えられたこともあり、いつも以上に華やかな会となりました。実はこの日のために、4か月前からラッシュメンバーで準備をスタート。社員一人ひとりに日頃から気を配られている社長へのサプライズということもあり、計画は慎重に進められました。当日は、倉田社長の似顔絵ケーキが登場！さらに記念ボードをプレゼントすると、会場は歓声と笑顔に包まれ、いつも以上の盛り上がりを見せました。準備を重ねてきた企画は大成功を収め、他の社員の誕生日とともに、社長の記念すべき節目を全員で分かち合う温かなひとときとなりました。節目の年を迎えられた社長とともに、これからも社員一丸となり、さらなる成長に向けて歩んでまいります。



Recommended Shops

おすすめのお店紹介

舞妓飯嵐山店

京都嵐山にある和テイストのお店です。完全予約制で、桜や紅葉の時期はなかなか予約が取れませんが、かなりおすすめです！天ぷら16品のうち8品は決まって、残りを選べるシステムです。肉、魚、野菜 etc.. 土瓶蒸しも付いているので、ご飯に天ぷらのせて出汁茶漬けにしても美味しかったです。



今月は中島がご紹介！

Recommended Books

おすすめの本紹介

天才による凡人のための短歌教室／木下龍也

歌人・木下龍也が、短歌の楽しさや作り方をわかりやすく解説している一冊です。発想法や言葉の選び方、日常の切り取り方を具体例とともに学べます。読み進める中で、特別な才能がなくても視点や言葉の工夫次第で表現は広がると実感しました。日常生活で常に考え続けることの大切さに気づかされ、仕事における伝え方や発想力にも活かせる一冊です。



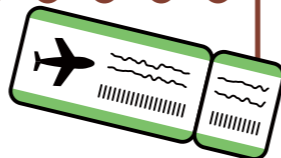
今月は坂本がご紹介！

Editor's Note 編集後記

新年度が始まってから1か月が経ち、少しずつ日常のリズムも整ってきた頃ではないでしょうか。ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか。今回の社内アンケートをきっかけに新入社員の頃を思い出し、あの時の小さな失敗や経験が今につながっているのだと、日々の積み重ねの大切さを改めて感じました。新緑の気持ちよい季節、前向きな気持ちを大切に過ごしていきたいですね。今月もお読みいただきありがとうございました。

担当：野村

SPECIAL
TICKET



 Rush International <https://www.rush-i.com/>
株式会社ラッシュ・インターナショナル

[本社] 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル2F TEL:052-950-6003 FAX:052-950-6004

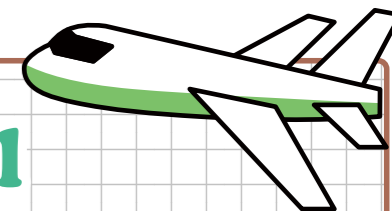
[東京] 〒141-0022 東京都品川区東五反田1-21-9 ウィスタリア東五反田ビル10F TEL:03-6811-5830 FAX:03-6811-5840

※重要 ニュースレターに関するお問い合わせ・ご意見・ご要望は <info@rush-i.com> までお願いします。お届け先の変更や、ニュースレター送付不要の際もお知らせいただければ幸いです。



2026
5

Rush International NEWS LETTER



Message from President



4月末に還暦になりました。

家族や社員のみならず、取引先の人たちにまでお祝いしていただけて、なんと幸せなことでしょう、本当にありがとうございます。

60年というのは、「還」だけに人生が一巡した感があります。人生の半分を社長として過ごしてきて、失敗も沢山あったし嫌なこともきつとあった（割と忘れてます。。）けれど、創業経営者という結構、人からみたらヘビィな道を選んで進んできたことに後悔は全くありません。

自分ではそんなに「人生、頑張った!」という認識はないのですが、基本、仕事は楽しくて有意義なので、大変なこと、しんどいことはあってもさほど苦にならない性質です。が、今の私の周りの人たちを見ても、30代、40代の時の自分の方が、圧倒的に多くの量の仕事をこなしていたことは明らか（笑）。きっと頑張ってきたのかなと思います。

最近よく社内で「言葉の定義」が話題になっています。

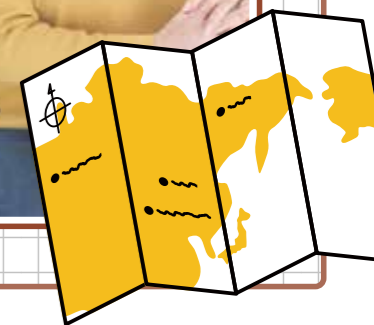
上述の「頑張る」という言葉ひとつとっても、ある人は「徹夜で仕事をしたこと」を頑張ったとっていて、また別のある人は「毎日、遅刻しないで会社に来ること」でも頑張ったとっていたりする、という「人による感覚差」があります。

これは、各人の「当たり前レベル」が違うことも要因になっていると考えられます。

社内の会議などで、指示したことが、そこまでやると思っていなかった、ということになっていたりするのが発覚して、実は伝わっていなかった、そもそも齟齬があった、ということがたまに起こります。「ちゃんとやってね」と言っても、その「ちゃんと」のレベル感を揃えて話をしていかないと、結局、欲しいアウトプットが手に入らないという結果になってしまいますね。

多様性の世の中になって、色々なモノやコトの許容範囲が広くなり、個々の感覚で「ちゃんとやる」にも幅が出てきてしまうことを最初から織り込む必要が昔より重要になりました。「私が今言っている「ちゃんとやるのレベル」は、こういう感じのことだよ」と抽象度が高い状態から具体的な項目や例を挙げて、相手に説明して感覚やレベル感が一致していることを確認するようにしています。

コミュニケーション能力が低いと、色んな人とすれ違いを起こしてしまいます。AIに指示を出すにも、こういった「言葉のレベル感」をうまく説明すると、思ったアウトプットが出てくるので、人間もAIも、その部分は同じですね。



Rush 社内に聞いてみた!

- 今月のお題 -

新入社員の頃の

「ちょっとした失敗談」や 「印象に残っているエピソード」は?



堀田

先輩の一言

ドイツ旅行のお土産を配る私に、先輩から「時差ボケより仕事のボケを直してね」と一喝。猛烈に悔しかったのですが、その言葉をバネに必死に頑張った思い出があります。



梅村

平成1桁...

「平成生まれなの? 90年代? 若いねー!」「ゆとり教育?」とたくさん言われてきましたが、今は21世紀生まれ・Z世代がそれですね。時は流れました。



大野

憧れと現実の厳しさ

配属先面談で「新聞片手にヒールを履いて渋谷でバリキャリになりたいです!」と言って渋谷担当を勝ち取りました。働き始めたら、渋谷は全然キラキラでなく、ヒールもすぐボロボロという現実でした(笑)



越智

満員電車の洗礼

配属先が東京本社で喜んだのも束の間、満員電車で1時間以上ゆられて会社に着いた頃にはすでに疲弊する毎日。緊張と疲れから部長の運転する助手席でうたた寝したこともありました...



伊藤

習うより慣れろ

新卒で入った会社では、座学が何日かあるかと思いきや、その日からお客様対応に入りました。心臓ばくばくで対応したのを今でも覚えています。



北澤

まだまだ修行中です

私は今、まさに失敗談とエピソードを量産している真っ只中にいます。まだ語ることはできませんが、いつか今を振り返られるよう、精一杯努めます。



倉田

厳しさこそ愛!

先輩に「1度しか説明しないから、2度と聞かないでね」と言われ、常に記憶をフル回転、めっちゃメモ(..)の日々でした。令和にはない光景ですが、こうやって厳しく教わったことに助けられて今があり、先輩には感謝しかありません。



児玉

名刺切れ

新人の頃、予想以上の人数に名刺が空に。手紙を添えて発送した苦い経験から、常に多めに持ち歩き財布にも予備を入れています。



野村

小さな言葉の壁

AIを今ほど多用できない中、会議に出てひたすら議事録をとりました。専門用語や英語3文字の略語が多く、最初の頃は勉強不足で全く違う用語を書いたことも。後に笑い話となり、和やかな空気が生まれました。



坂本

フリクションボールペン

まだ社会人として右も左もわからない時、会社に提出する入社関係の書類をフリクションボールペンで記入して提出してしまったことがあります。



伊藤

思い込みは危険

イベントの司会を任せられました。お客様の会社名が聞きなれなかったため「テトラポットに似ている」と覚えたことで、本番「テトラポット」と言いそうになりヒヤヒヤしました。



中島

初めての接客業

最初の頃は、接客ってこんなに会話力いるんだと痛感しました。「何か話さなきゃ」と思うほど何も出てこなくて、飲めないお酒をがぶ飲みしていました。



田中

「接客代わって」

携帯ショップで働いていた頃、「新人さん? 詳しい人に代わってくれる?」と言われました。毎年新人が言われてショックを受けるあるあるです。



佐藤 (産休中)

サラリーマン用語への戸惑い

よしなに、握る、球、仁義を切る等々...。はじめの頃は、「???」となっていました。が、半年も経てば、自然と自分も会話で使うように...!



成瀬

ギフト包装業務

包装紙でラッピングするのに何度も失敗をしていました。素早く綺麗に包装するためには毎日の練習が欠かせませんでした。



松岡

連絡事項の伝達漏れ

入社して3ヶ月の頃に先輩に連絡事項を伝え忘れ、私のゴミ箱を蹴り飛ばされたことがありました。報連相の重要性を改めて学べた出来事でした。



犬飼

押し間違え

お客様がエレベーターに乗られるときに『開』と『閉』を押し間違えて挟んでしまいました...。笑顔で許してくださいる方で良かったです(^-^)



坂口

初成約

販売職時代初めて商品が売れた際、伝票記入に緊張して手が震えたことを今でも鮮明に覚えています。



竹田

足元からおしゃれに

何十年も前の頃ですが田舎の岐阜から名古屋に就職して見るものすべてがキラキラでした。女性の社長に、足元からおしゃれにと少し高めのローヒールを買っていただいたのを思い出しました。

他にもこんな意見がありました!

歯科助手

診療中、不安そうな女の子に手を握ってほしいと言われ、温かい気持ちになったのを覚えています。

電話対応

初めて電話に出たとき、事前に練習して先輩のやり方を見てはいたものの、実際にやるとなると言葉が出てこず頭が真っ白になり、そのまま保留ボタンを押してしまったことがあります。

